



いっぽんぎ

今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

回 覧

滝沢市立一本木小学校
令和7年10月 9日
第12号 文責：亀 丸

運動会 ありがとうございました

9月27日(土)に運動会を開催いたしました。運動会日和の秋らしいさわやかな天気の中、子ども達は競技に応援に全力で取り組むことができました。最後まで勝利を諦めずに競技する姿に、仲間を懸命に応援する姿に大きな成長を感じました。

優勝は白組、応援優勝は赤組と勝敗はつきましたが、「自分の頑張りどころ」で輝く姿をたくさん見せた子ども達、運動会終了後はすがすがしい表情をしていました。

ご来賓の皆様や保護者の皆様、たくさんの地域の皆様の声援をいただきました。大変ありがとうございました。また、PTA校外指導部の皆様には、開会前の早い時間帯から、車の駐車誘導を行っていただきました。また、保護者の皆様には運動会終了後の後片付けもご協力いただきました。おかげさまでスムーズに運動会を実施することができました。



「支える」関わり
滝沢市出身の大学生が
ラーニングサポーターと
して活躍しました



「支える」関わり
高学年を中心に係
活動に真剣に取り組
みました



「見る」関わり
他の学年の競技を楽し
く見ながら応援しました



「知る」関わり
競技の仕方やルールを学習
し、練習を積み重ねました



「する」関わり
選手として優勝目指
して力いっぱい競技し
ました

【スポーツとの関わり】

- 1 競技を知る
- 2 競技をする
- 3 競技を見る
- 4 競技(大会)を支える

紅白両応援団長の感想

「運動会を終えて」

赤組応援団長 6年 久保田 乃々果

当日の応援では、「ぜったいに負けない」という思いでがんばりました。練習のときよりも全体の声が出ていて手ごたえを感じました。結果応援賞をとることができてとてもうれしかったです。

運動会を終えて考えたことがあります。それは予行では勝ったのに、本番では負けてしまい悔しい思いをしたことです。なぜ本番では負けてしまったのだろうと考えました。競技中の応援が途中で止まることもあり、応援の声を選手に十分に届けられなかったからだと思います。優勝旗に「赤組」と刻めなかったこと、5年生に優勝旗を持たせてあげられなかったことがとてもくやしくて、運動会後泣いてしまいました。

「運動会を終えて」

白組応援団長 6年 田中 陽

当日の応援では、練習のどの時よりも大きな声を出すことを意識してやりました。練習のときよりも、三三七拍子の全体の動きがそろっていて、声もよく出ていたので手ごたえがありました。

競技では、練習や予行では負けることが多かった「ヤングマン（綱引き）」や「リレー」で勝つことができ、結果優勝することができてうれしかったです。

運動会を終えて思ったことは、応援賞を赤組にとられてくやしかったけれど、応援団の仲間や自分自身が本気で声を出して応援できたので、いい運動会にすることができたということです。

小学校生活最後の運動会だったけど楽しい思い出をつくることができました。

安全朝会を行いました

9月30日（火）に安全朝会を行いました。一本木駐在所の山田所長様をはじめ、スクールガードの角掛有加様、田中涼子様、西舘美咲様にお越しいただき、子ども達にお話をしていただきました。

スクールガードの方々からは、子ども達が安全に気を付けて登下校できていること、引き続き交通事故等に気を付けて通行することなどをお話いただきました。

山田所長様からは、最近一本木小学校の学区でも熊が頻繁に出没しているので、もし熊と遭遇してしまったら、背中を向けて走って逃げたりすることなく、熊が人に気づいていないもしくは気にかけていないようであれば、熊と目を合わせず、ゆっくりと後ずさりをしながら立ち去ることを教えていただきました。

また、目が合ってしまう、熊が人を気にかけているようであれば、目を合わせたままゆっくり後ずさりしながら熊から離れること、万が一熊が襲ってきた場合は、熊は人の腹部や首を攻撃することが多いので、地面にうつぶせになってお腹を隠し、両手で首を保護する姿勢をとることも教えていただきました。

最後に児童代表の小田島海人さんが、スクールガードの皆様に感謝の気持ちを伝えました。



安全に関するお話をいただきました

感謝の気持ちを伝える
小田島海人さん

